

ふるさと講座・歴史系第1回目

歴史の道を歩く

江戸時代のハツケ！

～野付通行屋・番屋跡遺跡を訪ねる～

道内でも珍しい江戸時代の遺跡を訪ねます。
また、野付半島の春の息吹も感じられること
と思います。

●日 時 令和7年4月20日（日）

午前9時15分～午後1時

●場 所 野付半島

（集合-野付半島ネイチャーセンター2階）

ネイチャーセンターでお話の後、遺跡に移動し
ます。

●ガイド 別海町郷土資料館 石渡 一人

●定 員 14名

電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を4月17日
（木）までにご連絡ください。

●その他 長靴を必ず着用下さい。草分け道や海岸
を5kmほど歩きます。ウォーキングにも最適で
す。

遺跡の見どころ！

野付半島は、全長26kmの日本最大の砂嘴（さし）

（海上に長く突き出た形状で砂が堆積して出来た半島）です。

半島の先端には、国後島へ渡るための要所として、寛政11年(1799)に幕府によって設置された「野付通行屋」の遺跡が残されています。

この遺跡は、2003～2005年に海岸浸食を受け崩壊の恐れがあり、遺跡の半分を発掘調査しました。

遺跡の半分は、今でも現存し、当時のお墓、建物の跡、畑の跡を見ることが出来ます

今回のツアーでは、遺跡にまつわるお話と現地の見学により、幕末の当地の様子を知っていただきたいと思います。

●1999年頃の野付通行屋跡遺跡（上の写真）



野付半島、野付通行屋跡遺跡は、「日本遺産
鮭の聖地の物語」の構成文化財です。



出前移動展「近世の別海を探るⅢ～野付半島篇」のお知らせ！

●日 時 令和7年4月4日（金）～24日（木）

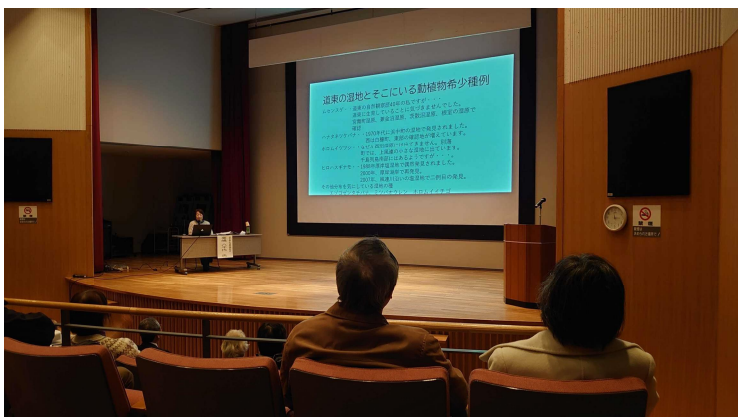
●場 所 野付半島ネイチャーセンター2階

近世の野付半島の様子がわかるパネルの展示を行います。ぜひ、ご覧ください。

「谷地端会議～ムセンスゲってどんな草」を開催しました。

西別湿原ヤチカンバ群落の国天然記念物への指定や、野付風蓮道立自然公園の国定への格上げが話題となる中、町内にある湿原への理解を深めてもらうために、3月2日（日）青少年プラザホールにて谷地端会議を開催しました。参加者は44名でした。

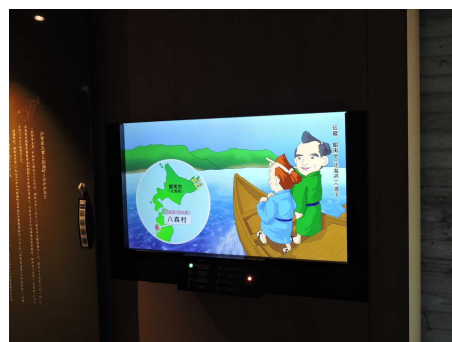
別海町の湿原分布や町民による湿原の思い出の語り合い、別海町と道東の湿原についてなど、身近にある湿原について参加者一同理解を深める一日となりました。



「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」アニメーションの上映開始

昨年1月に刊行されました「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」のアニメーションが完成し、3月から加賀家文書館にて上映を開始しています。

令和6年度アイヌ政策推進交付金を活用し、幕末にアイヌとともに生きた加賀伝蔵の生涯を町内外の多くの方に知ってもらおうと制作したものです。上映時間は、19分と長いアニメーションとなりますが、これまでの映像や日本遺産の紹介映像もご覧になることができますので、ぜひ、ご来館ください。



郷土資料館をご活用ください！

郷土資料館は、施設の一般公開のほか、出前講座や出前移動展など、みなさまの希望に応じて実施しております。限られたメニューではありますがご活用ください。

詳しいメニューは、<http://betsukai.jp/>から別海町郷土資料館を検索ください。

別海町郷土資料館だより No.309

発行日 令和7年4月1日
発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町 30 番地
電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

編集後記

4/20（日）野付半島で、幕末の遺跡を訪ねる講座やネイチャーセンターで、近世の別海を探索する出前移動展を開催します。ヒシクイやオオハクチョウ、カモ類の渡りなど、賑やかで春を感じる季節となりました。野付半島に足を運んで見てはいかがでしょうか。